

日中韓文化コンテンツ産業フォーラムについて

平成29年4月7日

経済産業省

1. 日中韓文化コンテンツ産業フォーラム準備会合について

- 日中韓文化コンテンツ産業フォーラムは、3カ国におけるコンテンツ産業政策、動向に関する継続的な情報交換及び各国産業界間のビジネスチャンス創出のために平成14年に設立された官民合同会議。平成21年以降中断していたが、平成28年6月に韓国・ソウルで7年ぶりに再開。
- ソウルでの第9回フォーラムにおける合意内容を受け、第10回フォーラムは日本がホスト国を担い、平成29年6月にコンテンツ東京と併催する形で開催を予定。

準備会合の開催概要

- 日時・場所：平成29年3月24日(金)－25日(土) 於：有明ワシントンホテル
- 出席者：日本 経済産業省 商務情報政策局 竹内審議官
同局 メディア・コンテンツ課 平井課長
外務省 文化交流・海外広報課 岡部課長
文化庁 長官官房国際課 国際文化交流室 高橋室長 他
中国 文化部 対外文化連絡局 王（ワン）局長助理 他
韓国 文化体育観光部 キム コンテンツ政策官 他
- 概要：第10回フォーラムに係るプログラム・議題等を議論。アニメジャパン2017を視察。



合意事項

- 第10回フォーラムを平成29年6月28日(水)－30日(金)に副大臣級で開催する。
- **コンテンツ総合見本市（コンテンツ東京）と併催し、産業界の幅広い参加を促進。**
- 3カ国関係省庁の参加の下で開催する。
- 政府間会議のほか、官民合同会議、産業界向けビジネスマッチング・セミナーを実施する。

(参考) コンテンツ東京について

日本最大級のコンテンツビジネスの国際総合展。2017年は、1,620社の出展、48,000名の来場を見込む。

出典：コンテンツ東京2017公式HP

2. アニメジャパン2017における中国等との連携

- 平成29年3月23日(木)～26日(日)の4日間、東京ビッグサイトにて開催。過去最多の総来場者数145,453人(前回比107%)を記録。
- 国内の主要企業が出展する国内最大のアニメの祭典であり、今年で4回目。
- ビジネスマッチングやセミナー等のイベントも多数開催され、アニメ関連ビジネス市場の拡大に寄与。中国関連企業の出展やバイヤーの参加を通じて、両国の連携強化が図られた。

Anime Japan2017概要

- 期間：3月23日(木)～24日(金)：産業界向け(B to B)
3月25日(土)～26日(日)：一般消費者向け(B to C)
- 会場：東京ビッグサイト
- 主催：一般社団法人アニメジャパン
- 後援：経済産業省/一般社団法人日本動画協会 他
- 展開内容：展示・物販・イベント・ビジネスエリア 等
- 総来場者数：145,453人(うちビジネス来場者数：4,051人)
- 出展社数：メインエリア 157社 ビジネスエリア 52社
- 主な中国企業(日本現地法人)：
(株)ビリビリ【配信】、北京動卡動優文化傳媒有限公司
(ハピネットウツワウツワカンパニイウケンウシ)【広告代理店(アニメ・ゲーム)】、
絵夢(IE)株式会社【アニメ制作会社】等



出典：AnimeJapan2017公式HP

中国マッチングフォーラム

日中のコンテンツ事業者・関係団体による情報交換、マッチングを実施。
○主催：映像産業振興機構(VIPO) / 共催：全球二次元産業連盟

- プログラム
・各分野を代表する日中コンテンツ事業者・関係団体による最新動向の紹介
・パネルディスカッション
・名刺交換会

- 参加企業：
【日本側】
(一社)日本動画協会、(株)集英社、松竹(株)、
(株)手塚プロダクション、(株)講談社 等
【中国側】

ビリビリ【配信】、テンセント【アニメ・漫画】、
SINA動漫【アニメ・漫画】、北京インターネット文化協会等【業界団体】



- 参加企業から挙げられた事項・課題：
【日本側】

- ・共同制作にあたっては商慣習の違い(書面通りに履行されない、送金手続の煩雑さ)や内容面の規制、輸入制限等の課題がある。
- ・中国の検閲基準が明文化されていない。
- ・契約書の言語や良質な翻訳者の不足。

【中国側】

- ・コンテンツビジネスのコアは権利であり、その保護が重要。
- ・最近では日本のアニメの製作委員会に積極的に出資。
- ・王道の日本コンテンツはもちろん、尖ったコンテンツも人気がある。